

保健管理センター

所長(兼任) 加須屋 實
講師 齋藤 清二
文部技官 山田 房子

◆ 原 著

1) 齋藤清二, 渋谷 隆, 西村信行, 樋口清博, 田中三千雄, 井上恭一, 佐々木博, 高嶋清次, 中野護: Chenodeoxycholic acid (CDCA), ursodeoxycholic acid (UDCA) 併用投与による胆石溶解療法 of 経験—CDCA 単独投与例との比較, 診療と新薬 22: 3027—3033, 1985.

2) 齋藤清二, 加須屋實, 山田房子: 大学生における上部消化管疾患—とくに急性病変に対する上部消化管パンエンドスコーピーの有用性について, 第22回全国大学保健管理研究集会報告書 273—276, 1985.

◆ 学会報告

1) 齋藤清二, 加須屋實, 山田房子: 保健管理センターにおける学生相談—身体症状を主徴とする相談事例に対するアプローチ, 第23回全国大学保健管理研究集会, 1985, 10, 弘前.

2) 齋藤清二, 渋谷 隆, 西村信行, 山崎国男, 佐々木博: 腫瘍培養細胞のレクチン結合性, 第71回日本消化器病学会総会, 1985, 5, 札幌.

3) 西村信行, 齋藤清二, 山崎国男, 渋谷 隆, 佐々木博: ハムスター実験腫瘍可移植モデルにおける分泌型複合糖質(粘液)の組織化学的および形態学的検討, 第16回日本腫瘍病研究会, 1985, 5, 札幌.

4) 土田敏博, 樋口清博, 井上恭一, 佐々木博, 齋藤清二, 真保 俊, 田澤賢二, 若木邦彦, 小泉富美朝: 長期観察し得た肝原発ホジキン病の1例, 第56回日本消化器病学会北陸地方会, 1985, 6, 富山.

5) 稲土修嗣, 渋谷 隆, 齋藤清二, 藤倉信一郎, 井上恭一, 佐々木博, 伊藤 博: 胆道狭窄をきたした十二指腸潰瘍の1例, 第6回富山消化器病研究会総会, 1985, 10, 富山.

6) 窪田芳樹, 齋藤清二, 渋谷 隆, 西村信行, 佐々木博: ハムスター実験腫瘍の超微形態について, 第17回日本臨床電子顕微鏡学会総会, 1985, 9, 名古屋.

動物実験センター

センター長(兼任) 木 村 正 康
助 教 授 東 條 英 昭
教 務 員 桃 井 啓 子
文部技官 栗 山 政 彦
文部技官 村 藤 貞 雄
文部技官 長谷川 実 等
文部技官 坪 田 一
文部技官 矢 後 正 一
文部技官 吉 田 勝 美

◆ 原 著

1) Tojo H., Ogita Z. and Momose Y.: Comparison of the *in vitro* development of mouse single blastomeres with and without the zona pellucida. *Experientia* 40: 108—109, 1985.

2) 長谷川 実: 富山医科薬科大学動物実験センターにおけるネコの飼育管理について(第3報), 実験動物技術 20(1): 50—55, 1985.

3) 桃井啓子, 荻田善一: ウサギにおけるアトロピン応答性体質の薬理遺伝学的研究, 和漢医薬学会誌 2(1): 20—26, 1985.

◆ 学会報告

1) Tojo H., Momoi K. and Ogita Z.: Studies on Developmental Regulation of Human β -globin Genes by Using Transgenic Mice. The Ninth International Symposium, Division of Brain Sciences, The Taniguchi Foundation Molecular Genetics in Developmental Neurobiology, 1985, 11, Ohtu.

2) 桃井啓子, 東條英昭, 服巻保幸, 荻田善一: ヒトグロビン β 鎖遺伝子のマウス受精卵への移入, 日本人類遺伝学会第30回大会, 1985, 11, 名古屋.

3) 東條英昭, 桃井啓子, 服巻保幸, 荻田善一: 形質転換動物, 第5回富山カンファレンス, 1985, 11, 立山.

4) 東條英昭, 桃井啓子, 服巻保幸, 荻田善一: ヒト β -グロビン遺伝子による形質転換マウス, 第8回日本分子生物学会年会, 1985, 12, 東京.

5) Tojo H., Momoi K., Fukumaki Y. and Ogita Z.: Transgenic mice carrying human β -globin genes. 日伊生物科学セミナー, 1985, 12, Kyoto.

◆ その他

1) 長谷川実: 第4回研究奨励賞(特別賞)を受賞して, 実験動物技術 20(2): 110, 1985.